

平成 30 年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 30 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 30 年 11 月 28 日(水)～29 日(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 53 名、委託関係者 64 名ほか、計 138 名の参集を得て、除草剤 35 薬剤 (193 点)、

生育調節剤 1 薬剤 (5 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 30 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.AC-263 液 イマザモックス アン モニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	実・継	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌 (全面)	大豆出芽直 前～摘、雑 草発生始～ 本葉展開期	200～ 300mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道		・効果薬害の確認(東 北以南:大豆2葉期 ～3葉期処理)
					大豆出芽摘 期～本葉1葉 期、雑草発 生始期～2葉 期			東北以南		
			茎葉兼 土壌 (畦間)	大豆生育 期、広葉雑 草2葉期まで	北海道	・作物に飛散し ないように散布 する ・体系処理;イネ 科雑草対象の 土壌処理剤を使用 する				
2.AH-01 液 グルホシネートPナトリ ウム塩:11.5% [Meiji Seika ファル マ 北興化学工業]	さとうきび	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または 植付前、雑 草生育期(草 丈30cm以下)	300～ 1000mL <100L>	全土壌	全域	夏植え栽培では 高薬量で使用す る	・薬量300mL<水量 100L>/10aでの効果 薬害の年次変動の確認 (耕起、植え付け前 (夏植え)) ・多年生雑草に対す る効果の確認
	さとうきび (春植え)	実・継	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉処 理(畦 間)	さとうきび生 育期、雑草 生育期	300～ 1000mL <100L>	全土壌	全域	・作物に飛散し ないように散布 する ・雑草の草丈 30cm以下で散 布する	・多年生イネ科雑草 に対する効果の確認
	さとうきび (夏植え)	継								・効果薬害の確認(畦 間(夏植え))
	さとうきび (株出し)	実・継	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉処 理(畦 間)	さとうきび生 育期、雑草 生育期	300～ 1000mL <100L>	全土壌	全域	・作物に飛散し ないように散布 する ・雑草の草丈 30cm以下で散 布する	・多年生イネ科雑草 に対する効果の確認
3.ALH-0831 乳 クレトジム:24.0% [*武田コンシュー マーヘルスケア アリスタライフサイエ ンス]	だいおう	実	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全 面)	だいおう生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	75mL <100L>	全土壌	全域		
	甘草	実	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全 面)	甘草生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	75mL <100L>	全土壌	全域		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意		
4.BAH-0805乳 ジメテナミドP 19.7%、 ペンディメタリン 23.1% [BASFジャパン]	大豆	継									・薬量・対象雑草につ いて確認
5.BAS-656 乳 ジメテナミドP:64.0% [BASFジャパン]	ばれい しよ	実・継	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	植付後萌芽 前、雑草発 生前	75～ 120mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	アカザ科・アブラ ナ科・タデ科に は効果が劣る	・効果薬害の年次変 動の確認(北海道)	
	てんさい (移植)	実	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	定植後、雑 草発生前	75～ 120mL <70～ 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	アカザ科・アブラ ナ科・タデ科に は効果が劣る		
	てんさい	-								(作用性)	
6.BCH-181 フロア ブル 新規化合物A:3% 新規化合物B:5% [バイエルクロップサイ エンス]	てんさい (移植)	-								(作用性)	
	てんさい (直播)	-								(作用性)	
7.CG-119αフロアブル S-メトラクロール 83.7% [シンジェンタジャパ ン]	てんさい (移植)	実 (従来 どおり)	一年生イネ 科雑草	土壌処 理(全 面)	移植後、雑 草発生前	70～ 100mL <100L>	全土壌	北海道		・効果薬害の確認	
	てんさい (直播)	実 (従来 どおり)	一年生イネ 科雑草 (スズメノカ タビラを含 む)	土壌処 理(全 面)	てんさい出芽 揃期、イネ科 雑草発生前	70～ 100mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道			
	てんさい	継	一年生全 般	土壌処 理(全 面)	てんさい中耕 後、イネ科雑 草発生前	70～ 100mL <70～ 100L>		北海道			
8.FMH-1816(旧 DPX-16顆粒水和) チフェンスルフロメ チル 75% [デュボン・プロダク ション・アグリサイエン ス]	どうもろこ し(飼料 用)	実・継 (従来 どおり)	一年生広 葉雑草、ギ シギシ	茎葉処 理(全 面)	どうもろこし3 ～5葉期、雑 草生育期	2～4g <100L>	全土壌	全域	・葉の退色、萎 凋、生育抑制を 生じることがある	・どうもろこし2～3葉期 処理での、一年生広 葉雑草に対する効果 の確認(東北以南) ・少水量(25, 50L)散 布での効果、薬害の 確認(東北以南) ・薬害の発生要因に ついて ・耕起前でのギシギシ 類に対する効果、薬 害の確認	
			ギシギシ		どうもろこし2 ～3葉期、雑 草生育期						2g <100L>

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
9.HCW-201フロアブル DCMU 50% [*保土谷UPL、 北興化学工業]	さとうきび (春植え)	実・継 (従来どおり)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉兼 土壌処 理(全 面)	さとうきび萌 芽前、雑草 発生始期	100～ 150mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	・ムラサキカタバ ミには効果が劣 る場合がある	・植付後萌芽前、雑 草発生前における薬 量100～200mL<散布 水量200L>/10a処理 での効果、薬害の確 認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期における 薬量100mL<水量 200L>, 240mL<100 ～200L>での効果薬 害の確認。
		さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)								
	さとうきび (夏植え)	実・継 (従来どおり)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉兼 土壌処 理(全 面)	さとうきび萌 芽前、雑草 発生始期	100～ 150mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	・ムラサキカタバ ミには効果が劣 る場合がある	・多年生広葉雑草に 対する効果について 年次変動の確認(さ とうきび生育期) ・植付後萌芽前、雑 草発生前における薬 量100～200mL<散布 水量200L>/10a処理 での効果、薬害の確 認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期における 薬量100mL<水量 200L>, 240mL<100 ～200L>での効果薬 害の確認。
		さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)								
	さとうきび (株出し)	実・継 (従来どおり)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	土壌処 理(全 面)	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	160～ 200mL <100～ 200L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	・ムラサキカタバ ミには効果が劣 る場合がある	・さとうきび萌芽前、 雑草発生始期での除 草効果、薬害の確認 ・さとうきび萌芽前、 雑草発生前における 薬量100～160mL<散 布水量100～ 200L>/10a処理での 効果、薬害の確認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期における 薬量100mL<水量 200L>, 240mL<100 ～200L>での効果薬 害の確認。
		茎葉兼 土壌処 理(全 面)		さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)	100～ 150mL <100L>					
	食用亜麻	実	一年生雑 草	茎葉兼 土壌処 理(全 面)	食用亜麻生8 葉期、雑草 発生始	100mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		
10.KUH-043顆粒水 和 ピロキサスルホン50%	ばれい しよ	実	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	植付後萌芽 前、雑草発 生前	20～40g <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道		
11.KUH-165フロアブル ジフルフェニカン7.4% ピロキサスルホン7.4% [クミアイ化学工業]	小麦(春 播)	継								・効果、薬害の確認
12.MAH-1201顆粒 水和 DCMU80% [アダマ・ジャパン]	大豆	継								・効果、薬害の確認
13.MBH-075乳 プロスルホカルブ 46% リニュロン 11.5% [丸和バイオケミカ ル]	小麦(春 播き)	-								(作用性)
	大麦(春 播き)	-								(作用性)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
14.MBH-135 乳 フルチアセトメチル 2% [丸和バイオケミカル]	大豆	実・継	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	大豆2~4葉 期、雑草生 育期(草丈 10cm以下)	30~ 50mL <100L>	全土壌 (砂土を除 く)	東北以南	・シロザ、ヒユ 科、ナス科の優 占圃場で使用す る ・キク科、カヤツ リグサ科には効 果劣る ・処理時に展開 していた葉に褐 斑を生じ、生育 が遅れる場合が ある	・有効草種につい ての確認 ・大豆1~3葉期処 理での効果、葉害の確 認(北海道)
					大豆5葉期~ 開花前、雑 草生育期(草 丈10cm以下)	30~ 50mL <100L>				
15.NBA-961顆粒水 和 メタミロン 70% [アダマ・ジャパン]	てんさい (直播)	-								(作用性)
		実	一年生広 葉雑草	茎葉処 理(全 面)	てんさい2葉 期以降(雑草 発生始~摘)	250~ 350g <50~ 100L>	全土壌	全域	・シロザ、ハコベ は葉齢が進むと 効果が劣る場合 がある	
16.NC-622液 グリホサートカリウム 塩 48% [日産化学]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理(全 面)	耕起または 播種前 雑 草生育期(草 丈30cm以下)	200~ 500mL <25~ 100L>	全土壌	全域	・散布水量5~ 6L、25~ 50L/10aの場合 は専用ノズルを 使用する	・収穫前全面処理で の効果、葉害の確認 (北海道)
						200~ 500mL <5~6L>		全域		
						200~ 500mL <5~6L、 25~ 100L>		東北以南	・作物に飛散し ないように散布 する ・散布水量25~ 50L/10aの場合 は専用ノズルを 使用する ・雑草の草丈 30cm以下で散 布する	
					茎葉処 理(畦 間)	大豆生育期 雑草生育期		200~ 500mL <25~ 100L>		
茎葉処 理(全 面)	大豆 落葉 期~成熟 期、雑草生 育期	500~ 1000mL <50~ 100L>		・成熟の遅れた 株に散布する と、子実の変色 やしわ粒等が発 生する場合がある ・水分含量の高 い果実をつけた 雑草では、茎葉 は枯れても果実 が残る場合があ る ・効果の完成ま でに2週間以上 を要する						
17.NP-55乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	ばれい しよ	実・継 (従来 通り)	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全 面)	ばれいしよ生 育期、イネ科 雑草3~5葉 期	150~ 200mL <100~ 150L>	全土壌	全域	・スズメノカタビラ には効果劣る	・イネ科雑草6~8葉 期処理での効果葉害 の確認(東北以南)
					ばれいしよ生 育期、イネ科 雑草5~8葉 期(草丈30cm 以下)	200mL <100L>		北海道		
	おうぎ	実	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全 面)	おうぎ生育 期、イネ科雑 草3~6葉期	150~ 200mL <100L>	全土壌	全域	・スズメノカタビラ には効果劣る	

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
18.NP-66Hフロアブル ピロキサスルホン 3.4% リニュロン24% [日本曹達]	大豆	継								・効果、薬害の確認
	とうもろこし(飼料用)	継								・播種後出芽前での効果、薬害の確認(飼料用)
	とうもろこし(食用)	継								・播種後出芽前での効果、薬害の確認(食用)
19.OAT-0901 液 グルホシネート:18.5% [OATアグリオ]	大豆	継								・効果薬害の確認
	かんしょ	継								・効果薬害の確認
	ぼれいしょ	継								・効果薬害の確認
20.SCC-010液 グルホシネート18.5% [日本アグロサービス]	大豆	実	一年生雑草	茎葉処理(全面)	耕起または定植前、雑草生育期(草丈30cm以下)	300～500mL <100～150L>	全土壌	東北以南		
					耕起または播種前、雑草生育期(草丈30cm以下)					
					播種後出芽前、雑草生育期(草丈30cm以下)					
				茎葉処理(畦間)	大豆生育期、雑草生育期					
		茎葉処理(畦間・株間)	大豆生育期(本葉5葉期以降)、雑草生育期(草丈20cm以下)			・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・本葉にかからないように散布する				
	かんしょ	継								・効果、薬害の確認
ぼれいしょ	継	一年生イネ科、一年生広葉	茎葉処理(畦間)	ぼれいしょ生育期、雑草生育期(草丈30cm以下)	100～200mL <100～150L>	全土壌	東北以南		・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する	・効果、薬害の確認
21.SL-573 フロアブル トルピラレート:10.4% [石原産業 *石原バイオサイエンス]	とうもろこし(飼料用および食用)	実・継(従来通り)	一年生雑草	茎葉処理(全面)	とうもろこし3～5葉期、雑草生育期(草丈15cm以下)	30～50mL <100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草が多い圃場では高薬量で使用	・イチビに対する効果の確認(北海道)
			一年生雑草	茎葉処理(全面)	とうもろこし6～7葉期、雑草生育期(30cm以下)	50～75mL <100～150L>	全土壌	全域		

展着剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
22.UPH-004 (旧NH-009液) グルホシネート18.5% [ユーピーエルジャパン]	大豆	実・継	一年生雑草	茎葉処理(全面)	耕起または播種前、雑草生育期(草丈30cm以下)	300～500mL <100～150L>	全土壌	東北以南		・効果、薬害の確認 (播種後出芽前、畦間処理)
					耕起または定植前、雑草生育期(草丈30cm以下)					
					播種後出芽前、雑草生育期(草丈30cm以下)					
				茎葉処理(畦間・株間)	大豆生育期(本葉5葉期以降)、雑草生育期(草丈20cm以下)	本葉にかからないように散布する				
23.WOC-01液 グリホサートイソプロピルアミン塩 41.0% [三井化学アグロ]	大豆	実・継 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉処理(全面)	耕起または播種7日以前、雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <25～100L>	全土壌	東北以南	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する ・大豆の発芽開始後は、薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する ・作物に飛散しないように散布する ・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する ・雑草の草丈30cm以下で使用	・薬量と効果の確認 (播種後出芽前) ・落葉終期での効果、薬害の確認
					播種後出芽前、雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <100L>				
				茎葉処理(畦間)	大豆生育期、雑草生育期	200～500mL <25～100L>				
24.ZK-122液 グリホサートカリウム塩 44.7% [シンジェンタ ジャパン]	てんさい	継								・効果・薬害の確認

自主試験

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
25.リニュロン水和リニュロン 50% [農研機構九州沖縄農研]	かんしょ(直播)	実・継	一年生雑草	土壌処理(全面)	植付後萌芽前、雑草発生前	200g <70L>	全土壌 (砂土を除く)	東北以南		・薬量100g<水量70～150L>での効果、薬害の確認
	かんしょ	実	一年生雑草	土壌処理(全面)	挿苗5日前以前、雑草発生前	100～200g <100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域		
			一年生広葉雑草	茎葉兼土壌(畦間)	かんしょ生育期、雑草発生前(草丈10cm以下)					

平成 29 年度

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
2.AL-513(改)細粒 アラクロール 4%、 リニュロン 1.04% [日産化学]	大豆	実・継 (従来 通り)	一年生雑 草	土壌処 理(全 面)	播種後出芽 前、雑草発 生前	4~8kg	全土壌 (砂土を除 く)	東北以南		・中耕培土後、雑草 発生前処理での効 果・薬害の確認 ・ツユクサに対する除 草効果の確認 ・薬量6~8kg/10aで の効果、薬害の年次 変動の確認
3.BAH-1701 液 既知化合物A: 480g/L 既知化合物C: 22.4g/L [BASFジャパン]	大豆	-							<作用性>	
9.NP-66フロアブル ピロキサスルホン 1.7% リニュロン12% [日本曹達]	大豆	継								・効果、薬害の確認

生育調節剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.BAW-1601乳 ピラクロストロピン 19.2% [BASFジャパン]	さとうきび	実・継	さとうきび 発芽促進	育苗セ ル灌注	セルトレイ植 付直後	0.5mL <1000mL >/セルト レイ	-	全域		・発根促進効果の確 認
	さとうきび (春植え)	-								<作用性>
	さとうきび (夏植え)	-								<作用性>